

2014年12月05日

「草の根・人間の安全保障無償資金協力」

サンパウロ州ジャカレイ市

「ジャカレイ高齢者ホーム・マイクロバス整備計画」

に対する草の根・人間の安全保障無償資金協力の贈与契約署名式について

在サンパウロ日本国総領事館

1. 去る11月27日（木）午後3時より当館において、アカシア兄弟ホームに対する我が国の草の根・人間の安全保障無償資金協力の贈与契約署名式をアルマンド・フィオレンチーノ・グロ理事長と当館福嶋教輝総領事の間で行いました（エリオ・ニシモト州議会議員陪席）。

出席者の挨拶：

- ・福嶋教輝総領事「1999年より実施している「草の根・人間の安全保障無償資金協力」による協力は、当館にとって111番目の協力になる。アカシア兄弟ホームは1980年に設立され、高齢者の保護及び医療的サポートを行っており素晴らしい活動をされている。これまで高齢者ホーム入居者の通院に関しては、1台のヴァンを使用していたが、同車両はシートベルトや安全機器の面で不十分であり、車椅子昇降機等も設置されていなかった。この協力によって特殊マイクロバスが整備されることにより、高齢者たちが安全で快適に通院等することができるようになり大変嬉しく思う。」と祝辞を述べました。
- ・エリオ・ニシモト州議会議員「私が育ったジャカレイ市の団体に日本政府が援助してくれることは私にとっても名誉であり、感謝申し上げます。」と謝辞を述べました。
- ・アルマンド・フィオレンチーノ・グロ理事長「日本は高齢者数が増加していると聞く。だが同時に、高齢者の生活の改善も行っていると聞く。私達は、日本と同様に高齢者の生活を改善することを目標としている。この度は日本政府に協力をさせていただいたことに敬意を表するとともに、喜びと感謝の気持ちでいっぱいである。資金協力によって購入するマイクロバスにより約20人の車椅子の高齢者の日常生活が改善されることに感謝申し上げます。」と謝辞を述べました。

2. 案件概要：

アカシア兄弟ホームは1980年に設立され、現在は51名の高齢者の保護及び医療的サポートを行っています。高齢者ホーム入居者の通院に関しては、これまで1台のヴァンを使用していましたが、同車はシートベルトや安全機器の面で不十分であり、また、車椅子昇降機等も設置されておらず、同車両に車椅子の高齢者が乗車する際は職員が抱きかかえ昇降を行っていたため、昇降を手伝う者も、昇降される高齢者にとっても快適な状況ではありませんでした。この状況を改善するため特殊マイクロバスの整備を必要としていました。今回の無償資金協力は、マイクロバスの整備に57,

779米ドルを限度に支援を行うもので、高齢者の快適で安全な通院等を可能にするものです。



福嶋総領事とアルマンド・フィオレンティーノ・グロ理事長（右）



福嶋総領事、グロ理事長及びニシモト州議会議員夫妻

（お問合せ先）

在サンパウロ日本国総領事館経済班  
（0 x x 1 1） 3 2 5 4 - 0 1 0 0